

## 2017年度 塩原良和研究会の活動に関する説明

2017年度の塩原良和研究会では、以下のような活動を予定しています。あくまで現時点での予定であり変更する場合がありますが、拘束時間と作業量がこれ以上、大幅に増えることはありません。

### ◇ 本ゼミ（月曜3・4限を予定）

#### (1)ゼミ生の個人研究報告やワークショップ等（週1コマ）

個人研究として、3年生の終わりまでに15,000字前後の論文（3年次論文）を書き、それを加筆修正して4年生の終わりまでに25,000-3万字程度の卒業論文を執筆していただきます。個人研究のテーマは社会変動論／国際社会学に関連していればどんなものでも構いません。

※個人研究テーマの例：

- ①国境を越える人の移動（移民、難民、外国人住民、旅行者、国際結婚、帰国子女、留学、ビジネスなど）と、それがもたらす国民社会の変容（多民族・多文化社会化、多文化主義・多文化共生、シティズンシップ、トランスナショナルリズムやコスモポリタニズム、エスニシティとナショナルリズムなど）。
- ②現代におけるさまざまな社会変動（グローバリゼーションと政治・経済の変容、新自由主義と福祉国家、貧困や格差の拡大、ライフスタイルやアイデンティティ、労働と余暇、家庭、教育、ジェンダーやセクシュアリティ、価値観や文化の変容など）。

(2)文献購読（週1コマ）：多文化主義・多文化共生または社会変動論／国際社会学、社会調査方法論等の専門書（学部専門課程レベル・主に日本語）。年間10冊前後。

### ◇ フィールドワーク

週1回（2～3時間）程度、授業時間外に大学の外で実施します。

この活動は一般的な社会学的現地調査とは異なり、「現場（フィールド）」でさまざまな活動を実践するなかで主体的に学ぶという、アクティブラーニング教育の要素を取り入れています。具体的には学外のNPO等と協働して、主に横浜市・川崎市での外国人住民や生活保護受給家庭（とくに中高生）に対する支援活動に、ボランティアとして参加していただきます。

※フィールドワークは塩原ゼミの重要な活動であり、原則として全員に参加していただきます。ただし参加日は、複数の曜日・時間帯からゼミ生の都合にあわせて選択可能です。